

きょうの 紙面

民間開発 6面

岐阜工場隣接に新工場

ナブテスコ・
建設業者を選定中

中区正木2に共住

スタートデベ
ロッピメント

岐阜版 2面

1.5%増の総額3690億
県の17年度当初予算
各部局要求状況

三重版 2面

下水道工事費を増額
四日市市の17年度
当初予算案公表

愛・名版 3面

収益施設2エリアに

名古屋市が「考え方案」
久屋大通の事業者公募

尾張版 3面

スポーツ広場 排水対策など盛る
日進市・総合運動公園
再生整備計画案策定

三河版 4面

実施設計 鈴木賢治に委託
豊橋市・五並中の
北校舎大規模改造

Q&A 建設キャリアアップ システム

全6回の5

Q15・ICカードを紛失し
連載5回目は、技能者の
個人情報のセキュリティー
対策・社会保険の未加入作
業員への対応、他の入場管
理システムなどの違いに
ついて回答してもらった
(回答=国土交通省土地・建
設産業局建設市場整備課)。

本人情報は「真正性」確保

Q16・社会保険に未加入の
連載5回目は、技能者の
個人情報が漏えいする
のではないか
Q17・登録情報の偽装はどう
防ぐのか。発覚した場合
の罰則は

Q18・現場出入りする資
材の納入業者の従業員、交
通誘導員はシステムに登録
できるのか

Q19・大手ゼネコン独自の
入退場管理システム、安全
管理システムなど、既に稼
働している民間サービスと
の違いは

Q20・就業履歴を蓄積する
統一システムへの参加でコスト削減

Q15・ICカードを紛失し
連載5回目は、技能者の
個人情報のセキュリティー
対策・社会保険の未加入作
業員への対応、他の入場管
理システムなどの違いに
ついて回答してもらった
(回答=国土交通省土地・建
設産業局建設市場整備課)。

BIM/CIM モデル事業実施

国土交通省は、ICTを活用した効率的な下水道事業の展開に向け、新たな取り組みを開始する。2日にはその一環として、BIM/CIMモデル事業の公募手続きを開始し、図面の三次元化による意思決定の迅速化や設計ミスの減少などを目指すことになった。募集対象は地方公共団体と、3次元モデル作成技能を備えた機関による共同事業体。2018年度までのモデル試行などを経て、20年度末にガイドラインを策定する方針だ。

BIM/CIMモデル事業の実施は、ICTを活用した下水道事業「i-Gesuido」の運用による意図決定の迅速化や設計ミスの減少などを目指すことになった。募集対象は地方公共団体と、3次元モデル作成技能を備えた機関による共同事業体。2018年度までのモデル試行などを経て、20年度末にガイドラインを策定する方針だ。

BIM/CIMモデル事業では、現場やポンプ場の土木・機械・電気新設工事、機械・電気改築工事で図面の3次元化を実施し、その効果を検証する。今後、取り組みとしてはまた3次元モデルの全面導入に向けたガイドラインの策定や標準歩掛などの基準類制定を行う予定。

i-GesuidoではBIM/CIMの他、施設管理の効率化を目指す「ストックマネジメント」、BIM/CIMの他、施設管理の効率化を目指す「ストックマネジメン



制度をもつと使いやすく!

国交省

女性建築技術者交流会

日本建設業連合会中部支部(岩川千行支部長)は3日、名古屋市内で女性建築技術者交流会を開いた。加盟会員の中から建築に従事する女性技術者29人が参加し、意見交換会を行った。意見交換会では「女性技術者が活躍できる建設現場環境整備」をテーマに、「せっかくある良い制度を利用しやすい環境にしてほしい」など活発に意見が出された。

た。

意見交換会の中では、「一昔前と比べると職場環境はかなり良くなつた」と評価する意見が出された反面、「せっかく

了

め、実務経験がないと監

理技術者要件を満たすこ

とができず、将来の技術

者不足が懸念されてい

る。検討会では、技術検定

の対象技術、試験科目、受

験要件などを議論する。

技術者要件を満たすこ

とができるよう、検討会

の開催が決まり、

技術者要件を満たすこ

とができるよう、検討会

の開催が決まり、

技術者要件を満たすこ

国交省

電気通信の あす検

建通新聞 中部

発行所 建通新聞社
中部支社 名古屋市西区浄心1-8-17
〒451-0061 電話(052)523-2611
名古屋支局 〒(052)523-2611
三河支局 〒(0564)21-2461
岐阜支局 〒(058)263-1166
三重支局 〒(059)227-7521
北勢通信部 〒(059)354-3550
<http://www.kentsu.co.jp/>
新聞定価6ヶ月 41,400円(税込)

© 建通新聞社 2017

発行 紙
東京／神奈川／静岡／大阪／岡山
香川／徳島／愛媛／高知

国土交通省はあす8日、電気通信工事の監理技術者要件とする新たな国家資格技術検定について話し合う「電気通信工事に係る施工管理技術検定に関する検討会」の初会合を開く。市場拡大が期待される電気通信工事は、国家資格がないと監理技術者要件を満たすことができず、将来的な技術力向上を目指す。ストックマネジメントでは管渠の維持管理作業について現在の約4・4倍(15年1回の点検)、処理場・ポンプ場の維持管理作業について現在の約1・2倍(生産労働人口の減少に対応)にまで効率性を向上させる方針だ。

また今後は、排水水質監視による感染症の予兆把握や、高齢者世帯の見守りなど、他分野との連携も模索していく方針。

電気通信

技術者が減

もの、元

高が増加

している。た

ね20年後を見据えた作業の効率性向上を目指す。施工管理技術検定に関する検討会の初会合を開く。市場拡大が期待される電気通信工事は、国家資格がないと監理技術者要件を満たすことができず、将来的な技術力向上を目指す。ストックマネジメントでは管渠の維持管理作業について現在の約4・4倍(15年1回の点検)、処理場・ポンプ場の維持管理作業について現在の約1・2倍(生産労働人口の減少に対応)にまで効率性を向上させる方針だ。

た。

意見交換会の中では、「一昔前と比べると職場環境はかなり良くなつた」と評価する意見が出された反面、「せっかく

了

め、実務経験がないと監

理技術者要件を満たすこ

とができるよう、検討会

の開催が決まり、

技術者要件を満たすこ

とができるよう、検討会